

令和3年度 第1回市川市スポーツ推進審議会

次 第

日 時 令和3年12月21日（火）
午前10時30分～午前12時
会 場 オンライン会議

1. 議 案

議案第1号 会長、副会長の互選について

議案第2号 「市川市スポーツ振興基本計画」の計画期間の延長について

2. 報告事項

報告第1号 市川市スポーツ振興基本計画 事業計画の
令和2年度実績

報告第2号 国府台公園再整備事業

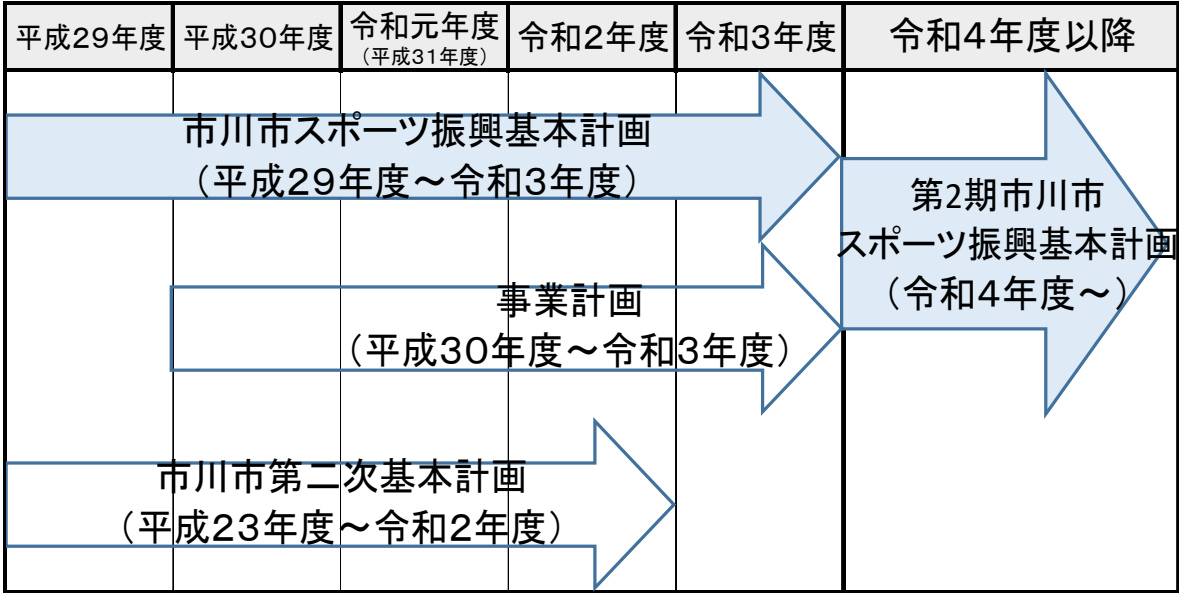
報告第3号 オリンピック・パラリンピック関連事業

3. その他

「市川市スポーツ振興基本計画」の計画期間の延長について

1. 現行計画概要について

(1) 計画期間



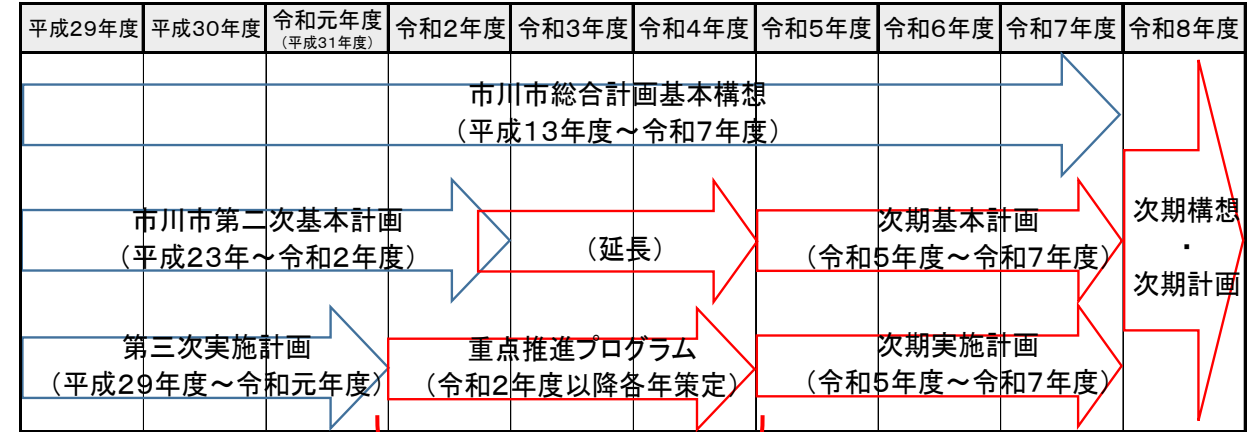
(2) 基本目標

- 目標1: ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出
- 目標2: スポーツをする空間・場所の確保、充実
- 目標3: スポーツ団体・クラブの育成
- 目標4: スポーツを支える人材の育成・確保
- 目標5: スポーツの情報の収集・提供
- 目標6: スポーツ競技力の強化

- 数値目標1: 市民のスポーツ実施率(週1回以上) **50%** →令和3年度時点 **47%(~~-3%~~)**
数値目標2: 総合型地域スポーツクラブの数 **4団体** →令和3年度時点 **3団体(~~-1団体~~)**
数値目標3: 市民のスポーツクラブ・団体への加入率 **30%** →令和3年度時点 **15%(~~-15%~~)**
数値目標4: 市公認スポーツ指導者の数 **500人** →令和3年度時点 **348人(~~-152人~~)**

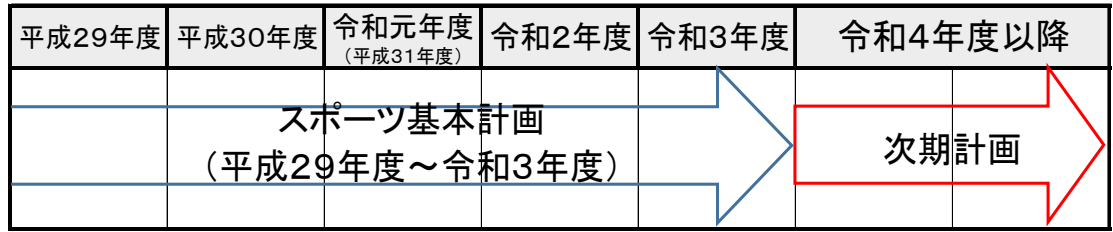
2. 上位計画及び参照計画の策定状況について

(1) 市川市総合計画



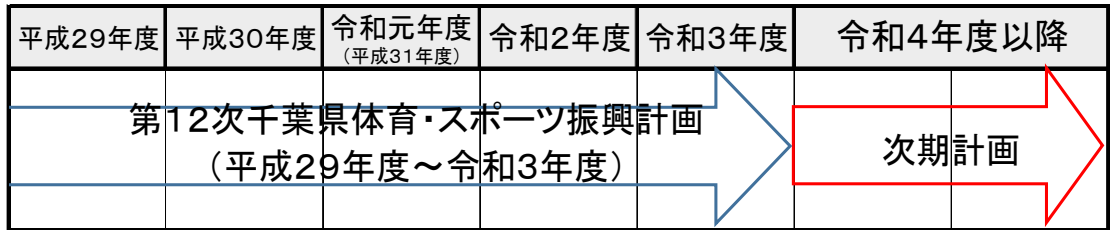
世の中の価値観が大きく変容していくことが
予想されていることから、見極めの期間を設けたもの。

(2) 文部科学省(スポーツ庁)の策定したスポーツ基本計画



※5年に1度の見直し

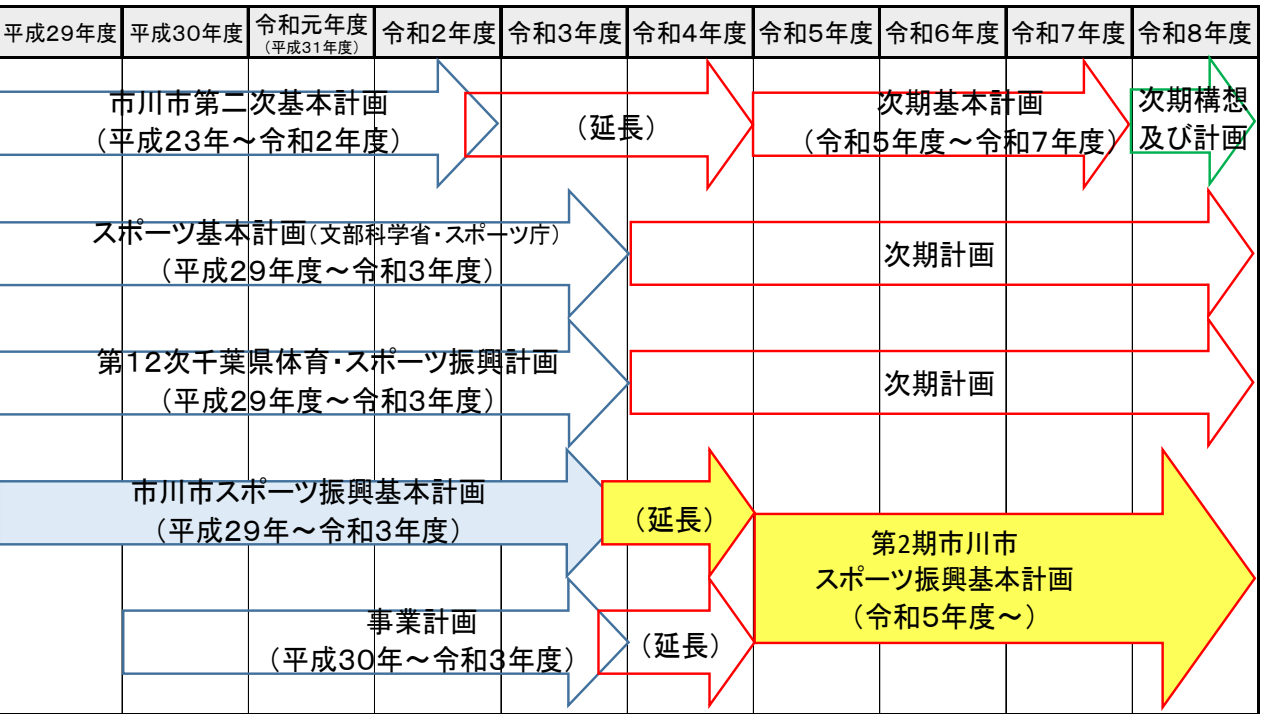
(3) 第12次千葉県体育・スポーツ推進計画



※5年に1度の見直し

3. 第2期市川市スポーツ振興基本計画の策定について

2の状況を踏まえて、本市のスポーツ振興基本計画は以下のスケジュールでの策定を目指す。



- ①平成28年度基本計画見直し時の方針として、次計画は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催後の社会状況を反映させることとしている。
- ②市川市総合計画(市の総合政策)を踏まえた計画とする。
- ③スポーツ庁・千葉県が策定する計画を参照した、計画とする。

①～③を踏まえて、1年間現計画の延長についてお諮りするもの。

■ スポーツ振興基本計画 事業計画 令和 2 年度実績

基本目標		基本施策		基本事業		事業内容	主な取組内容の実績（概要）	課題・対応方針等
1	ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出	(1)	スポーツに親しむきっかけづくりの提供	1	スポーツ情報の効果的な発信	スポーツ関連情報の集約や、w e b サイトの充実などによって、イベントや教室への参加を希望する層に効果的な発信を行っています。	・イベント情報の周知 ・教室・講習会情報の周知 ・関連団体・活動の周知 ・施設情報の収集整理・更新：スポーツ施設、運動できる施設情報や利用案内等の収集・整理を行い、充実したwebページを作成 ・新型コロナウイルスの感染状況によるイベント内容の変更やスポーツ施設の開放状況（コロナにより施設閉鎖期間有り）等についての迅速な情報の更新	・わかりやすいwebページ等の作成 ・施設情報の収集整理・更新 ・スポーツ行政の効果的な情報提供
				2	多様な人に対応したスポーツ習慣のきっかけづくり	未就学児、児童、生徒、成人、子育て層、高齢者、障害者など多様な人を対象として、効果的な情報発信などを行い、自発的にスポーツをする習慣を身につけられるよう普及促進に努めます。	・ラグビーフェスティバル（中止） ・いちかわスポーツフェスタ（中止） ・市民スポーツ教室の実施 参加者：延5,766人（中止、縮小有り） ・市内13地区における軽スポーツ教室の実施 参加者：延801人（中止、縮小有り）	・利用者層の各ニーズを的確に捉えたイベントや教室内容を検討する ・新型コロナウイルスの感染予防対策
		(2)	ライフステージに応じたスポーツの推進	1	生涯スポーツイベントの充実	現在行われている「みんなでスポーツ」「下総・江戸川ツデーマーチ」などのイベントや市民スポーツ教室、スポーツ推進委員地区活動などについて、情報発信や活動内容を充実させていくことで、参加者の増加を図ります。	・イベント及び教室の運営費や事業費の負担 ・下総・江戸川ツデーマーチ（中止） ・いちかわスポーツフェスタ（中止） ・市川市民マラソン大会（中止） ・みんなでスポーツ（中止） ・障がい者軽スポーツ（中止）	・ニーズを的確に捉えたイベントや教室内容を検討する ・新型コロナウイルスの感染予防対策
				2	健康増進イベントの推進	市民の健康意識の向上を図るために、体力測定などを行うイベントの実施や、栄養指導など健康に関するアドバイスなどができる体制の構築を検討します。	・信篤市民体育館 健康スポーツ教室の実施 4教室 延べ902人 ・市民プール アクアビクス教室（中止）	・教室数の拡大と施設調整 ・栄養指導など健康に関するアドバイス体制構築の方向性の検討
				3	高齢者向けのスポーツ教室の実施	健康スポーツ教室などの既存の教室の実施数増加、場所や指導者の確保、市川みんなで体操の地域拡大を行っています。また、市川市公認スポーツ指導者の地域活動の活躍の場として連携できるよう検討を図ります。	・信篤市民体育館 健康スポーツ教室の実施 4教室 延べ902人 ・介護予防「いきいき健康教室」 延べ953人（地域支えあい課） 自宅で行うことが出来る介護予防・フレイル予防について講義形式で実施	・教室数の拡大と施設調整 ・他部署の高齢者向け教室との連携 ・指導者の活躍の場との連携 ・新型コロナウイルスの感染予防対策
		(3)	子どもの体力向上と体育の充実	1	青少年向けのスポーツ教室の充実	市で既に実施している市民スポーツ教室やコミュニティクラブ事業について、市民のニーズの把握や総合型地域スポーツクラブとの連携などによって、事業の充実を図ります。	・夢の教室の実施（オンライン） （新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、実施学校数減） 小学校8校20クラス 中学校2校11クラス 特別支援学校（中止） ・親子で「夢の教室」（中止）	・継続的に実施 ・新型コロナウイルスの感染予防対策
		(4)	障害のある人のスポーツの推進	1	障害者スポーツの推進	障害者のスポーツイベントや軽スポーツなどを体験する教室を開催します。障害者と健常者が一緒になった取り組みへ展開することともに、w e b サイトを充実させる等情報発信を進め、障害者のスポーツ機会の充実を図ります。また、障害者の視点に立った指導者の育成の推進を図ります。	・障がい者軽スポーツ教室（中止）	・障がい者参加の拡大方法の検討 ・障がい者分野の関連部署との連携 ・障がい者スポーツの指導者の育成 ・新型コロナウイルスの感染予防対策
2	スポーツをする空間・場所の確保	(1)	公共スポーツ施設の整備	1	スポーツ施設の新設、再整備	○新規スポーツ施設の整備 ・市川市北東部スポーツタウン基本構想に基づき、既存の市民プールの方向性の検討及び関連整備などと整合性を図り、新規施設の整備を目指します。 ・市民のニーズに対応し、新規施設整備や既存施設の活用を行います。 ○各スポーツ施設の整備	○国府台公園野球場整備工事 ○国府台市民体育館バスケットボール改修修繕 ○国府台市民体育館第二体育館天井付照明器具修繕 ○国府台市民体育館昇降機修繕 ○信徳市民体育館高天井照明修繕 ○塩浜市民体育館冷温水バイパス配管制御弁交換修繕 ○柏井少年広場グラウンド整備修繕	・国府台公園再整備基本計画に基づく施設整備 ・施設を供用しながらの大規模改修の実施（安全性、施設環境等の確保）
		(2)	利用可能な施設、空間の有効活用	2	地域空間の利用・活用	○スポーツ広場等の用地の確保 ・民有地を借り受けて使用しているスポーツ広場等を将来的にも利用できるように、地権者と調整協議し、用地の保持に努めるとともに、既存施設の有効的な活用を検討いたします。 ○国分川調節池上部活用事業	・管理・運営方法等の見直しや改善 ・老朽化施設・設備の改修による環境整備・機能向上 ・運動広場、河川敷、少年広場の管理・環境整備	継続的に実施

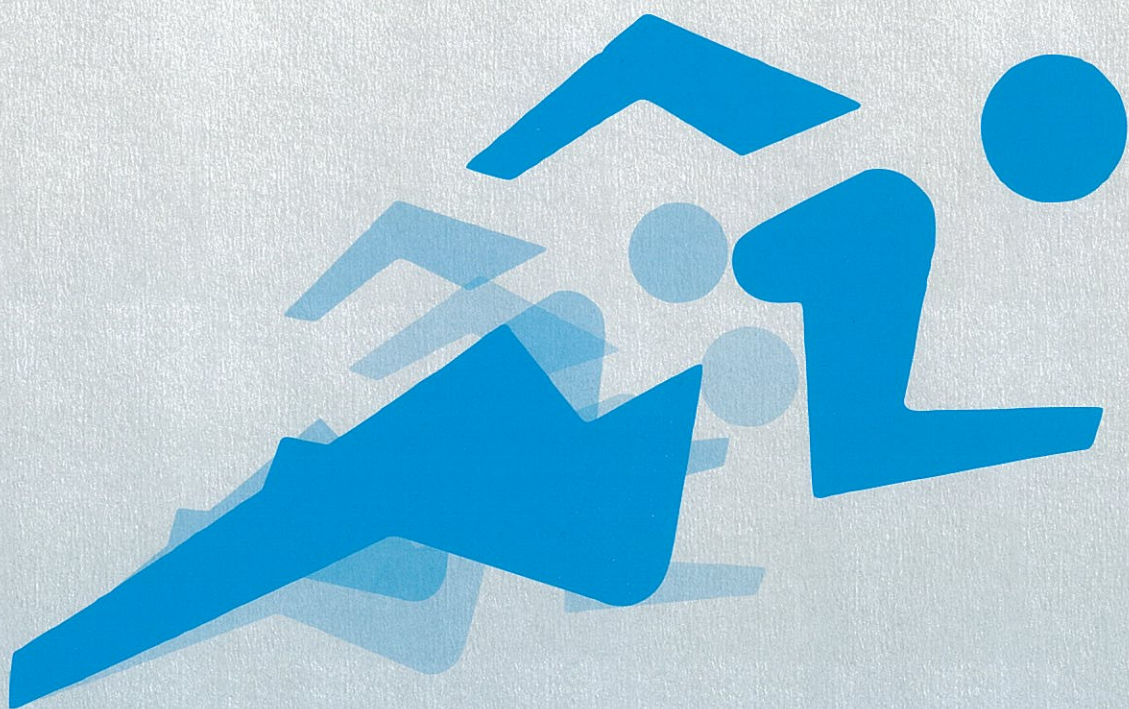
基本目標		基本施策		基本事業		事業内容	主な取組内容の実績（概要）	課題・対応方針等
2	スポーツをする空間・場所の確保	(3)	利用可能な施設、空間の有効活用	1	学校施設の有効活用	学校施設開放のより効率的な運営を目指し、利用状況の見直しや有効的な活用など運用方法や管理体制の検討を行います。また、必要に応じて県立高校等の連携についても、検討していきます。	(開放校) 55校／55校 (開放日) 年末年始（12月29日～1月3日）を除く日で 学校教育上支障のない日 (コロナにより施設開放中止期間あり)	継続的に実施
				2	公共スポーツ施設の使いやすさの向上	公共スポーツ施設の運用面の改善を図ります。利用時間、予約方法、設備の備品などの改善を検討し、施設の使いやすさを向上させていきます。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、国や県との連携を図り、必要に応じた対応を検討いたします。	・管理・運営方法等の見直しや改善（予約管理など） ・老朽化施設・設備の改修による環境整備・機能向上 ・市民プール管理運営用備品の購入 ・キャンプ場・運動広場管理運営用備品の購入 ・スポーツ施設管理運営用備品の購入	継続的に実施
				3	大学や企業のスポーツとの連携	大学や企業のスポーツ施設について、施設概要や利用実態を把握し、効果的な施設利用の拡大を図るとともに、包括協定を結んでいる大学との連携を進めます。また、施設の効果的、効率的な運営体制の検討を行います。	・ラグビーフェスティバル【和洋女子大学、東京医科歯科大学、千葉商科大学】（中止） ・ツデーマーチ【和洋女子大学】（中止）	・各イベントにおける協力体制の呼びかけ
				4	身近な空間や場所の有効活用	歩いて楽しいウォーキングコースの設定やマップの作成、軽スポーツ等ができる公共施設の空きスペースの探索など、身近な空間や場所の有効活用について検討します。また、気軽に立ち寄れ、スポーツが実施できる施設の整備をや利用機会拡大のための情報発信を進めます。	・管理・運営方法等の見直しや改善（予約管理など） ・老朽化施設・設備の改修による環境整備・機能向上 ・公園の安全性、快適性の向上 ・魅力ある公園として適切な維持管理を実施	継続的に実施
				5	子どもの居場所づくりの検討	公共施設や公園、広場などに、子どものためのスポーツ指導者の派遣やスポーツに関連するプログラムの提供などを体系的に行うことにより、子どもがスポーツを楽しめる場所を増やすことを検討します。	・市内13地区における軽スポーツ教室の実施 ・総合型地域スポーツクラブの定期教室やイベント等の活動・運営支援、	・ソフト面における関係団体、関係部署との連携 ・子どもが安全・安心に利用できる施設・設備など利用環境の改善を図る
				6	民間スポーツ施設との連携	民間スポーツ施設の利用促進を行うなど連携を図り、市民の健康増進を進めます。	・公民連携事業の検討	・公民連携手法による施設整備の検討
3	スポーツ団体・クラブの育成	(1)	総合型地域スポーツクラブの育成	1	総合型地域スポーツクラブの育成	既存の総合型地域スポーツクラブでは、地域住民主体のクラブ運営をサポートし、地域・会員相互のコミュニケーションの活性化、会員数の増加、プログラムの充実・向上に向け支援をしていきます。	・総合型地域スポーツクラブの定期教室やイベント等の活動・運営支援	継続的に実施
				2	総合型地域スポーツクラブの設立	新規クラブ設立に向け、準備を進めるとともに、新規設立クラブが、クラブとして自立し、自主運営できるよう多方面から支援を行います。また、個々のクラブの自主性を尊重しながら、各クラブ相互の関係を強化して、本市の総合型地域スポーツクラブの大きな特徴として育成していきます。	・市内4つ目のクラブ設立に向けた現状把握及び検討	・新規クラブの必要性等の検討 ・基本計画の指標や基本事業の方向性の検討
				3	クラブ運営者や指導者の育成	クラブを運営していくスタッフの育成を図ります。またスポーツ指導者の資格保持者や市川市公認スポーツ指導者、スポーツ推進委員などから指導者の発掘を行うことや、クラブ会員を指導者として育成していきます。	・市川市公認スポーツ指導者養成講習会及びスキルアップ講習会（中止） ・スポーツ推進委員の関係研修会への参加（中止）	継続的に実施
		(2)	既存スポーツ団体・クラブの活性化	1	総合型地域スポーツクラブとの連携	総合型地域スポーツクラブと既存スポーツ団体・クラブを連携させ、総合型地域スポーツクラブの充実を目指します。	・クラブ同士の連携・体制づくりのの検討	・基本事業の方向性の検討 ・具体的な取り組み内容の検討
				2	競技大会の充実、参加の推進	市川市体育協会と各加盟団体による市民体育大会の充実を進める他、県民体育大会等の競技大会への参加を促進します。	・スポーツ協会事業費に対する補助 市川市市民体育大会・加盟団体主催による各種競技大会・千葉県民体育大会に関する選手の派遣（中止、縮小有り） ・市川市少年野球連盟活動費補助金 加盟団体数 81チーム ・市川市女子フットベースボール活動費補助金 加盟団体数 14チーム	継続的に実施

基本目標		基本施策		基本事業		事業内容	主な取組内容の実績（概要）	課題・対応方針等
3	スポーツ団体・クラブの育成	(2)	既存スポーツ団体・クラブの活性化	3	活動拠点の確保の支援	公共スポーツ施設の整備、学校施設開放の有効活用、施設の情報提供等により、活動拠点の確保を支援しています。	・スポーツ施設の改修工事 ・施設情報の収集整理・更新 スポーツ施設、運動できる施設情報や利用案内等の収集・整理を行い、充実したwebページを作成する ・学校施設開放の実施	・わかりやすいwebページ等の作成 ・スポーツ行政の効果的な情報提供
				4	部活動と地域の連携	競技レベル向上のために、学校の部活動において、競技レベルの高い学校の指導者や生徒を指導者として地域のクラブに派遣し交流を推進します。 また、学校の推薦を受けた地域の指導者を外部指導者として仰ぐ体制を継続していきます。	部活動等地域指導者協力事業の実施（中止） ・指導者の登録・講習会の実施	継続的に実施
4	スポーツを支える人材の育成・確保	(1)	スポーツ指導者の育成と確保	1	市川市公認スポーツ指導者制度の推進	「市川市公認スポーツ指導者制度」を本市の基本的なスポーツ指導者の資格とし、既存スポーツ指導者や新たな人材に資格取得の P Rを行い、スポーツ指導者の発掘・育成を行います。	・市川市公認スポーツ指導者養成講習会及びスキルアップ講習会（中止）	・継続的に実施 ・指導者増加に関する取組の検討
				2	活躍の場の確保	スポーツ指導者が、総合型地域スポーツクラブ、学校の課外活動、市のスポーツイベント、教室といった様々なスポーツ振興の場に適切に派遣されるように、指導者の派遣制度を整備するとともにその情報発信を進めています。	・学識経験者や指導者と、事業のマッチングの検討	・基本事業の方向性の検討
				3	生涯スポーツ指導者の育成	だれもが気軽に楽しめる生涯スポーツ、新たなスポーツ種目や軽スポーツなど推進のために、様々な対象者に対応した指導者育成研修会の開催を推進します。	・公認指導者スキルアップ研修会の実施（中止） ・スポーツ推進委員関係研修会への参加（中止）	継続的に実施
				4	総合型地域スポーツクラブ中核スタッフの育成	総合型地域スポーツクラブの立ち上げや運営には、経営(マネジメント)や連絡調整(コーディネーション)の能力を持った人材が必要となるため積極的にクラブコーディネーターに関する養成講習会等への参加を促すなど、計画的に発掘・養成を進めていきます。	・北市川スポーツクラブの運営支援 各種スポーツ教室の開催支援・広報活動支援・運営費の補助 定期教室9種 延221回 参加者数3,784人 各種イベント等 延3回 参加者数1,163人	継続的に実施
				5	スポーツボランティアの発掘・育成・確保	総合型地域スポーツクラブのスタッフやイベント・スポーツ教室の開催には、多くのボランティアとなる人が必要となります。 定期的に講習会を行うなど、市民の意識向上を図り、スポーツボランティアの発掘・育成・確保を促進していきます。	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に伴う、ボランティアの活用（中止）	・オリパラ当該年度における活用の検討 ・基本事業の方向性の検討
5	スポーツの情報の収集・提供	(1)	スポーツ情報の集約、充実	1	スポーツ関連情報の集約、webサイトの充実	Webサイトの一元化や充実を図り集約した情報を提供していきます。	・イベント情報の周知 ・教室・講習会情報の周知 ・関連団体・活動の周知 ・施設情報の収集整理・更新：スポーツ施設、運動できる施設情報や利用案内等の収集・整理を行い、充実したwebページを作成する	・わかりやすいwebページ等の作成 ・スポーツ行政の効果的な情報提供
		(2)	スポーツや健康の相談窓口の充実	1	相談窓口の充実	スポーツ、健康、介護予防などスポーツ活動やスポーツを通じた健康づくりに関する市民の様々な相談に対応するため、スポーツ相談の役割を担っている人材、関連部署と連携し、相談窓口の充実を図ります。	指導員の配置・資質の向上 （各体育館のトレーニング室）	・基本事業の方向性の検討 ・関連部署との連携による取組の検討
				2	運動療法や運動処方への展開	市内の医師会と連携をとり病後の運動療法（リハビリ）や、各個人の要望に沿った運動処方の作成などを検討していきます。	・健康管理・運動処方に関するソフト面の検討	・基本事業の方向性の検討 ・関連部署との連携による取組の検討 ・健康増進アプリ等の構築の検討
6	スポーツ競技力の強化	(1)	競技スポーツに触れる機会の提供と活動支援	1	国内外のスポーツ交流の推進	小中学生を対象に、サッカー、卓球等の海外遠征を行います。 青少年の競技力の強化、見識の広がりを目的としており、今後も継続し支援していきます。	・スポーツ大会派遣参加費用補助金の交付 全国大会（0団体・個人1人） 関東大会（2団体・個人0人） ・青少年スポーツ国際交流事業補助金の交付（申請団体無し）	継続的に実施

基本目標		基本施策		基本事業		事業内容	主な取組内容の実績（概要）	課題・対応方針等
6	スポーツ競技力の強化	(2)	競技力強化体制の構築	1	優れた素質を有する選手（ジュニア選手）の発掘・育成	各競技団体が中・長期的な観点に立って、選手として適正のある者の早期発見と継続的な育成のため、指導体制の向上など総合的な計画を検討します。また、ジュニア期(小中学生)から良質の環境の中で一貫した指導が行われるよう努めます。	・スポーツ協会事業費に対する補助 加盟団体主催による各種競技大会・スポーツ少年団・スポーツ団体等の育成・強化・千葉県民体育大会に関する選手の派遣 ・スポーツ大会派遣参加費用補助金の交付 ・青少年スポーツ国際交流事業補助金の交付（申請無し） ・競技力向上推進事業（中止）	・競技力向上推進事業による指導者の資質向上と選手の育成・強化を図る
				2	指導者の養成・確保とスポーツ医・科学の推進	指導者の高齢化や、質的、量的にも指導者が不足しており、市公認スポーツ指導者養成講習会などを通じて指導者の養成・確保に努めます。 また、競技力の向上を目指すために、選手のトレーニングやコーチングにスポーツ医・科学の知識を取り込んだ、より専門的な指導者の養成・確保に努めます。	・市川市公認スポーツ指導者養成講習会及びスキルアップ研修会（中止）	継続的に実施
				3	スポーツ拠点施設の整備・充実	市民に高いレベルの競技スポーツを目の当たりに提供するため公式的な大会が開催できる総合的な運動施設の整備・充実を検討します。	○老朽化施設・設備の改修による環境整備・機能向上 ・国府台市民体育館避難口誘導灯交換修繕 ・信篤市民体育館ジム外照明修繕 ・塩浜市民体育館メインアリーナ照明器具修繕 ○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のキャンプ地誘致に向けた施設整備 ○管理・運営方法等の見直しや改善 ・トレバシDの運用開始 ○スポーツ施設管理運営用備品の購入 ・体育館競技のスポーツ用具更新（バレーボールカバー、卓球台等） ・スポーツ施設管理運営用備品の購入（体温計、台車、ワイヤレスアンブ等） ・運動広場用の備品（コートブラシラック・ソフトボール用簡易フェンス等）	・国府台公園再整備基本計画に基づく施設整備 ・市内施設の再整備・改修に関する計画の整理
				4	スポーツ関係団体等の整備・強化	スポーツ振興の中核であるスポーツ協会の指導・強化体制を整備するとともに、強化主体である競技団体と学校・地域・企業が連携して選手の育成・強化に努めます。	・スポーツ協会事業費に対する補助 市川市市民体育大会、市川市民マラソン大会、加盟団体主催による各種競技大会、スポーツ少年団・スポーツ団体等の育成・強化、千葉県民体育大会に関する選手の派遣 ○市川市少年野球連盟活動費補助金 630千円 加盟団体数 80チーム 約1,000名 （高学年チーム40チーム 低学年40チーム） ○市川市女子フットベースボール活動費補助金 130千円 加盟団体数 14チーム 約300名 ・スポーツ情報の発信	・関連団体、関連部署との連携強化の取組の検討

市川市 スポーツ振興 基本計画

【概要版】



平成 29 年 3 月
市 川 市

計画の策定趣旨と背景

近年、少子高齢化や情報化の進展、地域社会の空洞化や人間関係の希薄化が進むなど、国内を取り巻く社会環境や価値観が急激に変化している中、スポーツへの期待はますます高まってきています。

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることが決定し、市民のスポーツに対する関心が高まることが期待され、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけにして、スポーツの推進に繋がる施策の展開も急務となるなか、「市川市スポーツ振興基本計画」の見直しを行うものです。

計画の位置づけ

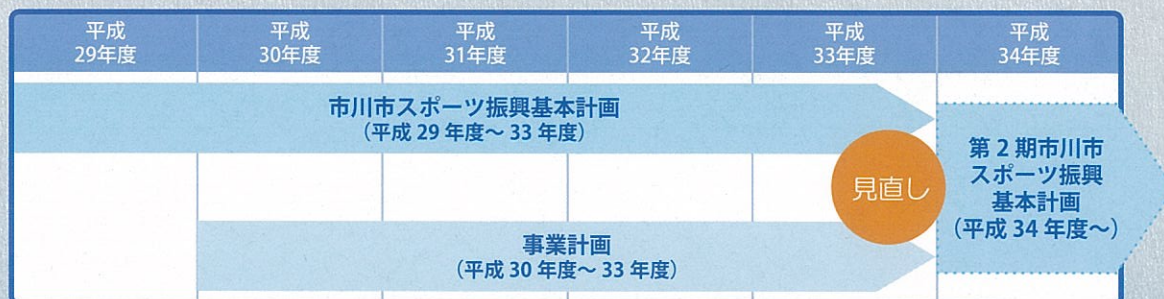
本計画は、国の「スポーツ基本計画」及び県の第 11 次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を参照して見直しを行うものです。

市川市総合計画では、施策目標として「スポーツ環境の充実」と設定しており、その目標の実現に向け、本計画に基づき、施策や事業を推進していきます。

計画の期間

本計画は、現行計画の一部見直しを行うとともに、5 年間継続することとし、平成 33 年度までを計画期間とします。

また、スポーツ環境の変化や計画の進捗具合などに対応するため、本計画に基づく事業計画を作成し、具体的な取り組みや目標を明確にし、効率的な推進を図っていきます。



基本理念

「健康で、ふれあい生まれる スポーツのまち、市川」

「健康」、「ふれあい（交流）」をスポーツ振興のキーワードと捉えた基本計画の考えを踏襲し、「健康で、ふれあい生まれるスポーツのまち、市川」を計画の基本理念としています。

計画の基本方針

★ 人づくり

スポーツ振興により、自己実現、生きがいづくり、健全な心身の育成、競技レベルの向上といったことから、市民一人一人の人づくりを目指します。

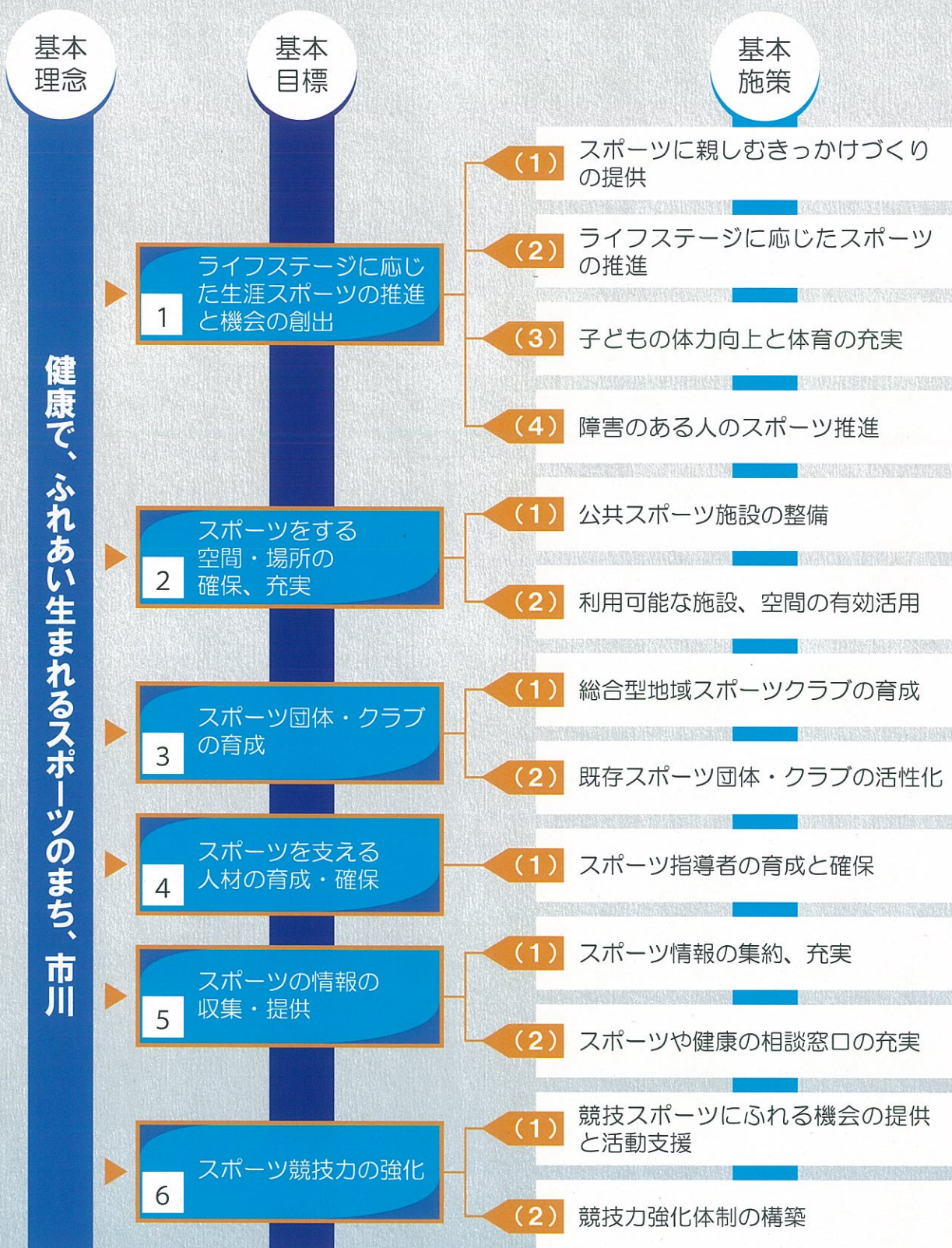
★ 組織づくり

スポーツ振興により、活動の場の増加や、種目の多様化を支え、人と人との交流を生む組織づくりを目指します。

★ 地域づくり

スポーツ振興により、地域間、世代間交流の促進、コミュニティの活性化や地域イメージの向上といった地域づくりを目指します。

計画の体系



施策の展開

基本目標1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出

それぞれの体力やライフステージ、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、だれもがいつまでもスポーツを楽しむことができるよう、スポーツイベント・教室等の実施、スポーツプログラムの開発の検討を行います。

基本施策	方 向 性
(1) スポーツに親しむきっかけづくりの提供	- 積極的に多様なメディアを通し情報を発信していきます。 - 市民参加の拡大を図るため、教室内容の周知活動に努めます。 - 市民のニーズを捉え、スポーツを行える機会の提供に努めます。
(2) ライフステージに応じたスポーツの推進	- 健康意識の向上に向けた健康づくりに関する事業との連携を充実させます。 - 短時間でできる運動の周知を行います。 - 年齢や趣向など様々な方を対象としたイベントや教室の実施を行います。
(3) 子どもの体力向上と体育の充実	子どもがいろいろな運動を行うことができる機会を提供します。
(4) 障害のある人のスポーツ推進	- 障害者のスポーツを体験する機会を提供します。 - 障害者スポーツに関する情報発信の充実を進めます。

基本目標2 スポーツをする空間・場所の確保、充実

スポーツ環境やニーズが変化しているなか、行政だけでなく、スポーツ関係団体、学校など様々な主体が連携・協働し、身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境を整えていきます。

また、関連計画と整合性を図りながら、スポーツ拠点の整備を検討するとともに、既存施設の積極的な有効活用を図り、身近で気軽にスポーツ活動ができる空間・場所を充実するなど、市民のニーズに応じたスポーツ情報の提供などのスポーツを楽しむ環境づくりを進めます。

基本施策	方 向 性
(1) 公共スポーツ施設の整備	- 北市川運動公園の開園とともに、スポーツセンターの施設率改善に向けた検討を行います。 - 関連計画との整合を図りながら、老朽化した施設について、リニューアルや廃止等を含めた計画を検討していきます。 - 交通アクセスの利便性の向上を図る検討を行います。 - スポーツを観戦する場の整備や機会の確保を検討します。
(2) 利用可能な施設、空間の有効活用	- 学校施設開放について、登録団体の利用状況を精査し、有効に活用できるよう、検討を進めます。 - 身近な場でウォーキングなどに取り組める場を確保します。

基本目標3 スポーツ団体・クラブの育成

地域住民が主体の、いつでも、どこでも、だれもが、いつまでもスポーツを楽しむことのできるシステム「総合型地域スポーツクラブ」の普及・啓発を行うとともに、クラブ創設・運営の支援と育成に取り組みます。

基本施策	方 向 性
(1) 総合型地域スポーツクラブの育成	・総合型地域スポーツクラブの周知を図ります。 ・総合型地域スポーツクラブの運営や指導者の育成を支援します。
(2) 既存スポーツ団体・クラブの活性化	・スポーツ団体・クラブとの協力体制の充実を図ります。 ・スポーツ団体・クラブを初めとした地域の団体、取り組みの支援を進めます。

市内の総合型地域スポーツクラブ		
市川スポーツガーデン 国府台 	市川スポーツガーデン 塩浜 	北市川スポーツクラブ 
実施種目 卓球 バドミントン バレーボール サッカー テニス バスケットボール エアロビクス ハワイアンフラダンス 太極拳 ランニング教室 チア 健康教室 など	実施種目 フットサル ソフトバレーボール 卓球 テニス グラウンドゴルフ フォークダンス ピラティス コアストレッチ スポーツチャンバラ ヨガ など	実施種目 サッカー ラグビー テニス ソフトテニス ウォーキング フットベースボール
会場 市川市スポーツセンター 国府台市民体育館 中国分スポーツ広場 国府台小学校 市川小学校 東京医科歯科大学 他	会場 塩浜市民体育館 青葉少年スポーツ広場 他	会場 北市川運動公園 北方多目的広場 他

基本目標4 スポーツを支える人材の育成・確保

市民が、生涯を通して、自己の能力・適性、興味・関心などに応じ、主体的にスポーツ文化を豊かに享受することのできるスポーツライフを構築するためには、その先導者となるスポーツ指導者の育成・確保が必要になります。

子どもから高齢者、障害者など様々な市民のスポーツニーズに対応した指導者を育成するとともに、スポーツの推進をコーディネートする人材の育成を進めます。

基本施策	方 向 性
(1) スポーツ指導者の育成と確保	・市川市公認スポーツ指導者制度やスポーツ推進委員についての周知を図ります。 ・市民の要望に対し適切な指導者の派遣するなど、活躍の場を増やしていきます。 ・十分な資質と能力を備えたスポーツ指導者を育成します。

基本目標5 スポーツ団体・クラブの育成

いつでも、どこでも、だれもが、いつまでも楽しむことのできるスポーツや気軽に始められる健康づくりの情報発信を実施し、市民のスポーツ参加意欲を高めます。また、必要としている人に情報が届くよう多様な手段を用いた情報提供に取り組みます。

基本施策	方 向 性
(1) スポーツ情報の集約、充実	・積極的に多様なメディアを通し情報を発信していきます。 ・関連各課との連携を図り、ホームページの案内における情報の一元化や集約を行います。 ・健康づくりや初心者向けのスポーツ教室に関する幅広い情報提供を行います。
(2) スポーツや健康の相談窓口の充実	・スポーツや健康の相談窓口の充実を図ります。

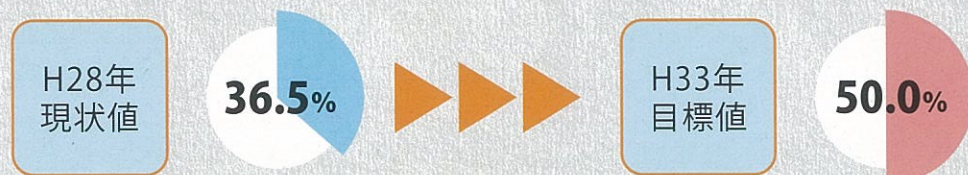
基本目標6 スポーツ競技力の強化

全国的なスポーツ大会、県レベルのスポーツ大会への参加を支援し、市レベルのスポーツ大会の開催や関係団体への助成を通して競技スポーツの拡大を図るとともに、ジュニア選手の発掘・育成、指導者の確保・育成、スポーツ環境の整備などにより、スポーツ競技力の強化を図ります。

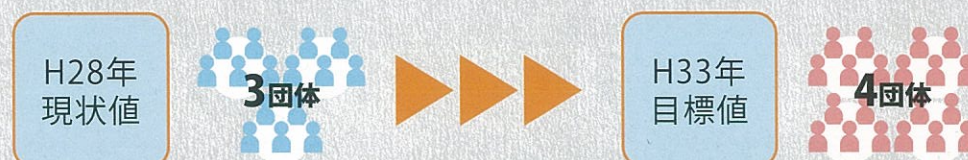
基本施策	方 向 性
(1) 競技スポーツにふれる機会の提供と活動支援	・小中学校体育連盟と連携し選手の育成・競技力の向上に努めます。 ・市体育協会、種目別競技団体等と連携して強化体制を確立し競技水準の向上に努めます。
(2) 競技力強化体制の構築	・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取り組みと合わせて競技力強化体制の検討を行います。 ・学校、企業や、地域スポーツクラブまた各競技団体を総括する体育協会と連携し、小中学生の育成、選手発掘・競技力の向上に努めます。

数値目標

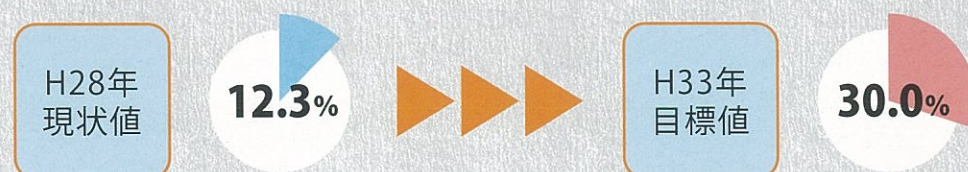
指標① スポーツ実施率（週1回以上）



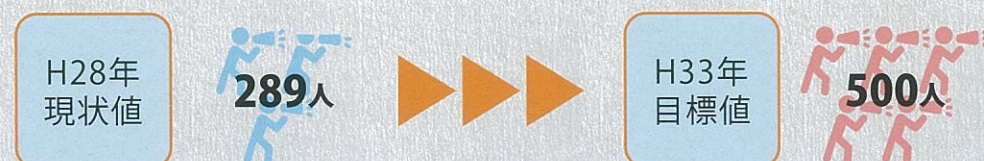
指標② 総合型地域スポーツクラブの数



指標③ 市民のスポーツクラブ・団体への加入率



指標④ 市公認スポーツ指導者の数



計画の推進体制

関係各課が、市民、スポーツ関連団体、スポーツ指導者、専門家（スポーツ、医療など）、民間企業などと、連携、意見聴取、協力支援の体制を構築し、各施策、具体的な施策を実施していきます。

市川市スポーツ振興基本計画【概要版】 平成29年3月

編集

市川市 文化スポーツ部 スポーツ課
〒272-0827 市川市国府台1丁目6番4号

TEL 047-373-3112
FAX 047-372-4290

■ 令和3年度事業の進捗状況について（国府台公園再整備事業）

具体的な案件 イベント等		国府台公園再整備
主 な 基 本 計 画 の 位 置 づ け	目標	2 スポーツをする空間・場所の確保、充実
	施策	(1) 公共スポーツ施設の整備
	事業	1 スポーツ施設の新設、再整備
	事業内容	市民に快適なスポーツ環境を提供するために、施設の種類や稼働状況、及び老朽化の進捗状況、市民のニーズに合った施設配置の状況を把握分析し、本市に新設や増設が必要となるスポーツ施設については、施設の適正量を踏まえ、全体的な調整を行いながら、整備方針の検討を進めるもの。
実 施 事 業 分 類	事業名	国府台公園再整備事業
	事業概要	国府台公園周辺の整備については、スポーツセンターの機能を補完していくことを目的に、施設や設備の改修や備品類の充実を踏まえ、「安全・安心」な施設として整備を進めるとともに、公園内施設率や各施設の機能性、環境美化といった課題解決を図るもの。
取 り 組 み 内 容	概要・目的	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、事業費の削減及び感染症対策を講じた施設計画とすべく、国府台公園野球場の設計見直し業務、既存施設の解体・新設工事、工事の監理業務を発注し受注者を選定し、事業の進捗を図るもの。
	実績	○国府台公園野球場整備工事（設計・施工・工事監理一括発注）の発注・受注者選定 令和2年8月7日公募型プロポーザル公告 令和2年9月14日（一次選考）・令和2年10月28日（二次選考）を経て、受注者を選定。 令和2年12月定例会市議会において契約議案の可決を経て本契約締結。 ○国府台公園野球場整備工事の業務開始 令和3年3月8日から既存施設の解体工事に着手し、令和3年10月31日をもって工事完了。  
効果や課題など		・埋蔵文化財の調査を工事と並行して実施する必要がある。 ・埋蔵文化財を保護する施工方法の実施に伴い、工期延長が見込まれることから、極力工期短縮した工程となるよう、関係機関と調整が必要。
今後の対応・方向性など		・公園全体の整備計画の検討を進めるとともに、北側広場等の設計業務を発注する。 ・埋蔵文化財担当と調整を図りつつ、野球場の実施設計を行う。

■ 令和3年度事業の進捗状況について（オリンピック・パラリンピック関連事業）

具体的な案件 イベント等		ブルガリア新体操チーム 事前キャンプ・事後交流
主 な 基 本 計 画 の 位 置 づ け	目標	1 ライフステージに応じた生涯スポーツの推進と機会の創出
	施策	(1) スポーツに親しむきっかけづくりの提供
	事業	2 多様な人に対応したスポーツ習慣のきっかけづくり
	事業内容	未就学児、児童、生徒、成人、子育て層、高齢者、障害者など多様な人を対象として、効果的な情報発信を行い、自発的にスポーツをする主幹を身につけられるよう普及促進に努めます。
実 施 事 業 分 類	事業名	オリンピック・パラリンピック関連事業
	事業概要	2017年にブルガリア共和国のホストタウン登録を行い、ブルガリア新体操チームの事前キャンプ、関連イベント等を行い、市民との交流の場を設け、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に向けた市民の機運醸成を図るもの。
概要・目的		オリンピック・パラリンピックの開催に際し、市民のスポーツへの興味関心の向上や機運の醸成、また、スポーツを通じた地域活性化を図るもの。
取 り 組 み 内 容	日時	令和3年8月1日（日）～10日（火）
	場所	国府台市民体育館
	参加人数	16人
	実績	○実施内容 <事前キャンプ> - 選手団の選手村への移送、選手村に入らなかった選手2名が、国府台市民体育館にて練習を行う際のサポートを行い、団体総合の金メダル獲得に貢献。 - 市内の小中学生が、選手団への応援の気持ちを込めて描いた応援のぼり旗や、育てた花を練習会場に配置し、児童生徒が間接的ではあるが、オリンピックに携わることで、スポーツへの興味関心を高めた。 <事後交流> ブルガリア共和国新体操チーム（ブルガリア新体操連盟会長、コーチ、選手等16名）と抽選で当選した市民をZoomでつなぎ、選手団との交流を行った。当日は、金メダル獲得の団体メンバーを含めた全選手に参加していただき、参加者からの質問に、選手自身の経験をふまえながら、お話しいただいた。 ○写真
	・実施内容（成果） ・写真など	 国府台市民体育館での練習  事後交流（オンライン交流）
効果や課題など		・オリンピック・パラリンピックへの機運醸成 ・スポーツへの興味関心の向上 ・オンラインイベントの実施方法、接続環境の整備等については、検討が必要
今後の対応・方向性など		令和4年度以降の取り組み・連携について検討を要する。